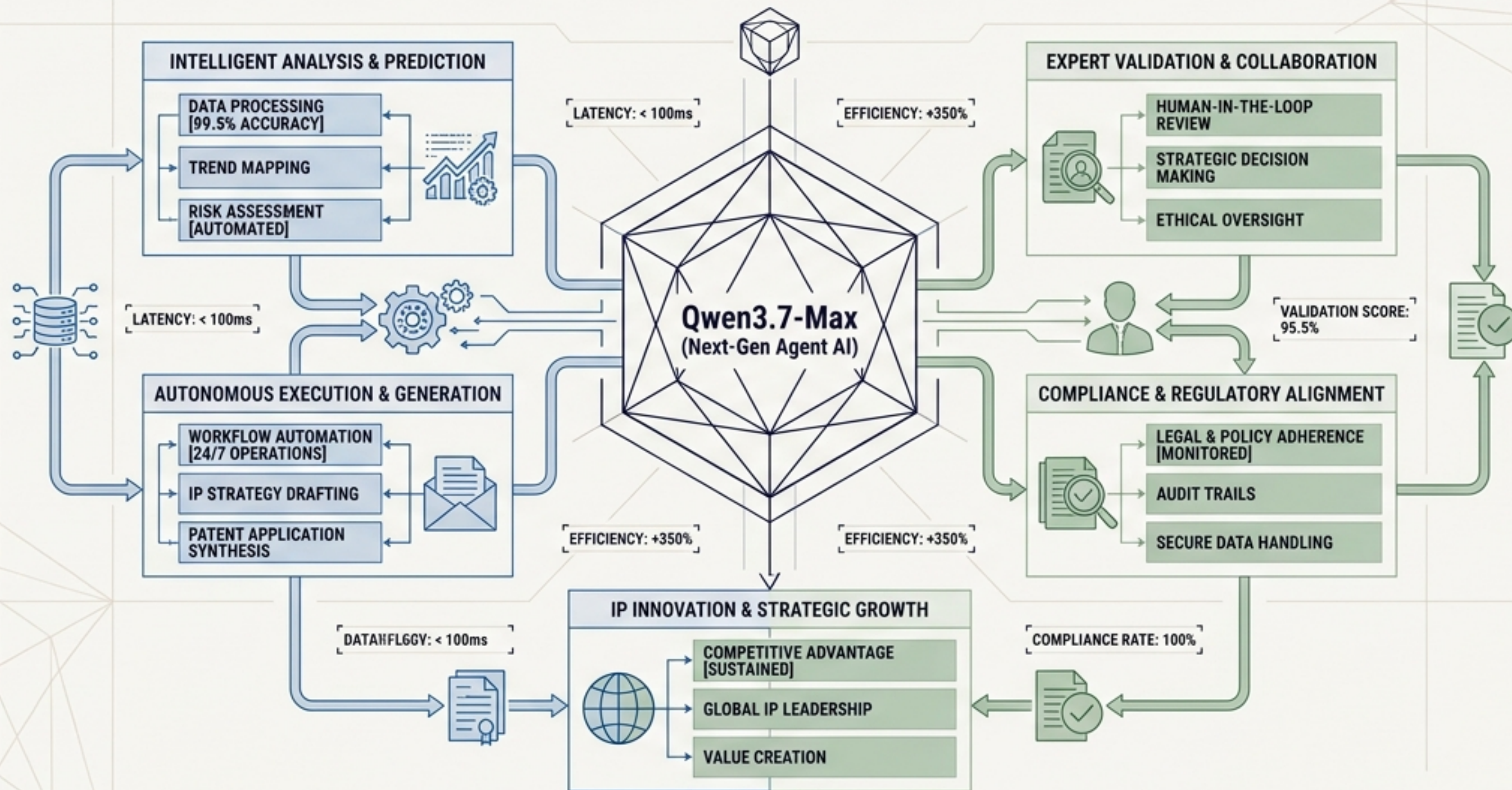
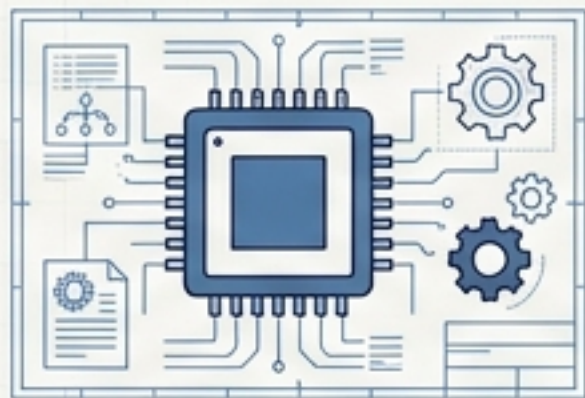


次世代エージェントAI「Qwen3.7-Max」の衝撃

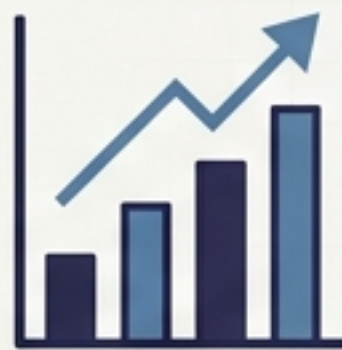
対話型LLMから自律型ワークフローへのパラダイムシフトと知財（IP）業務の革新





技術革新

100万トークンの巨大コンテキストと自己修復ループによる完全自律駆動。



パフォーマンス

西側の最先端モデル（Claude Opus/GPT）を凌駕するコーディング・推論性能。



業務革新

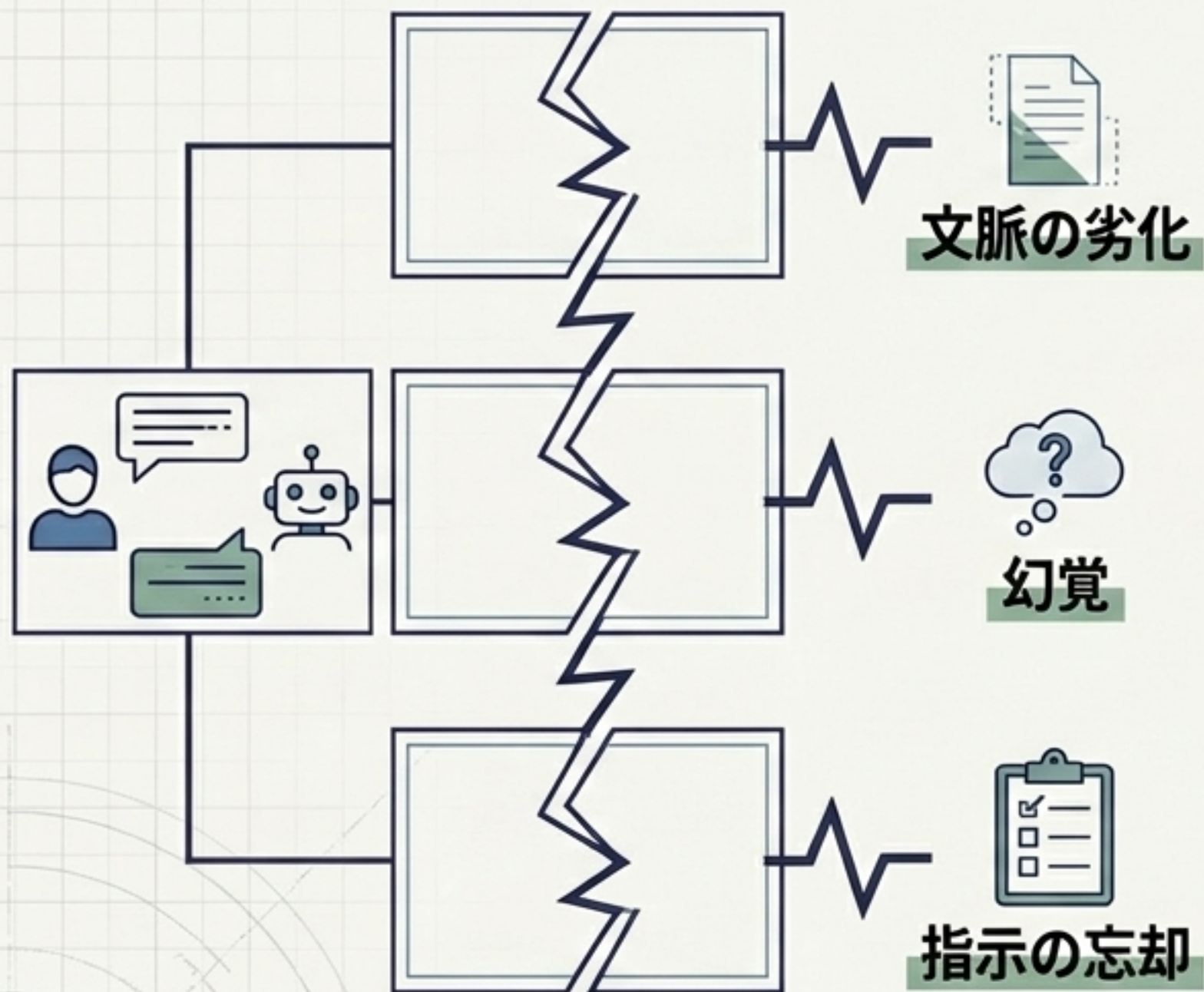
知的財産（IP）業務のエンドツーエンド自動化。工数とコストの劇的削減。



戦略的課題

中国クラウドインフラ依存によるデータ主権問題と、運用コスト（トークン冗長性）の管理。

従来型LLM (Chatbot Era)

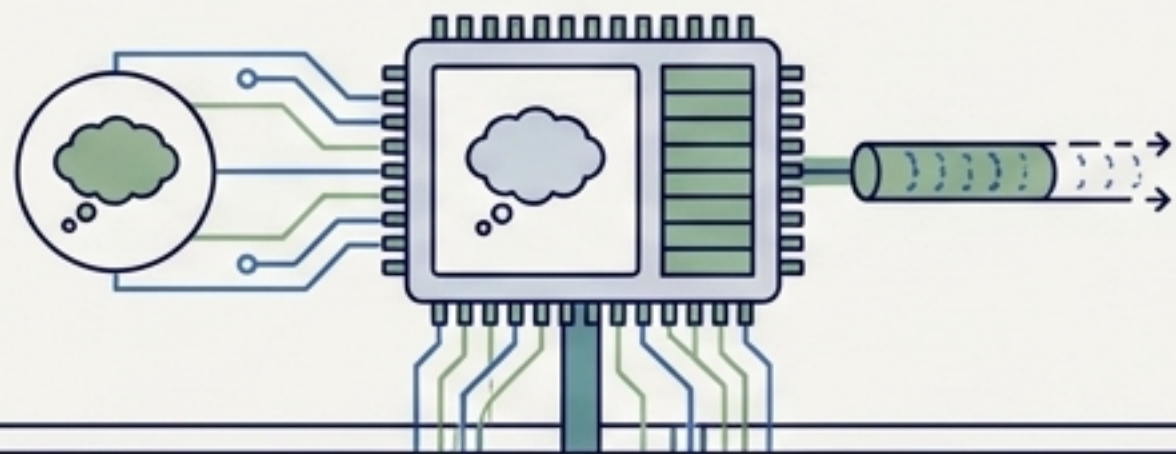


Qwen3.7-Max (Agent Era)



「単発の応答」から「数千ステップに及ぶ長期ホライズンタスクの自律完遂」へ。

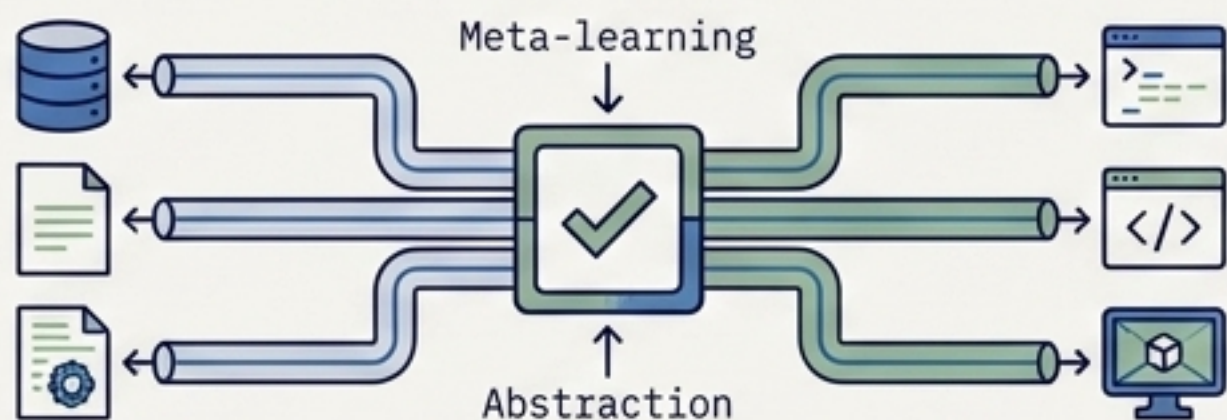
LAYER 1: EXTENDED CONTEXT & REASONING



100万トークン&拡張思考

膨大な入力の保持と、直前の推論文脈を維持するpreserve_thinking API。

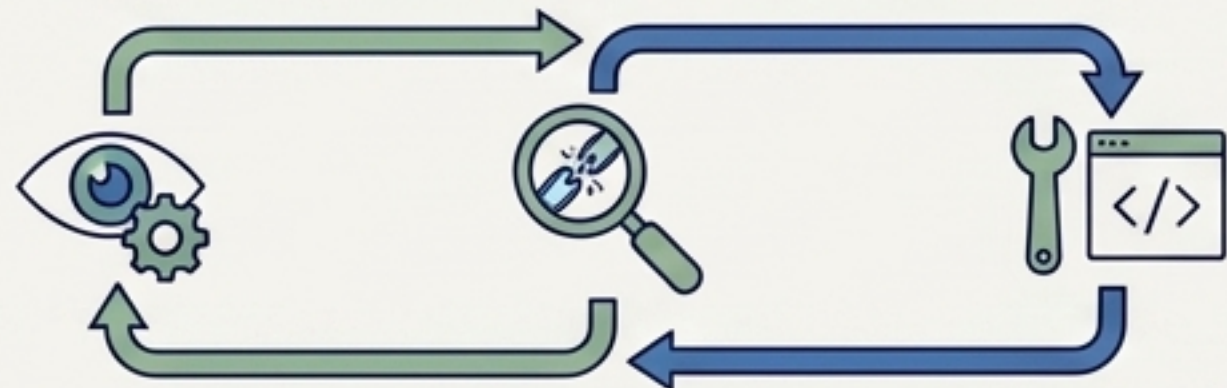
LAYER 2: CROSS-HARNESS GENERALIZATION



交差ハーネス汎化

タスク・ハーネス・検証器の完全分離。特定の環境に過剰適合せず、普遍的な問題解決のメタスキルを獲得。

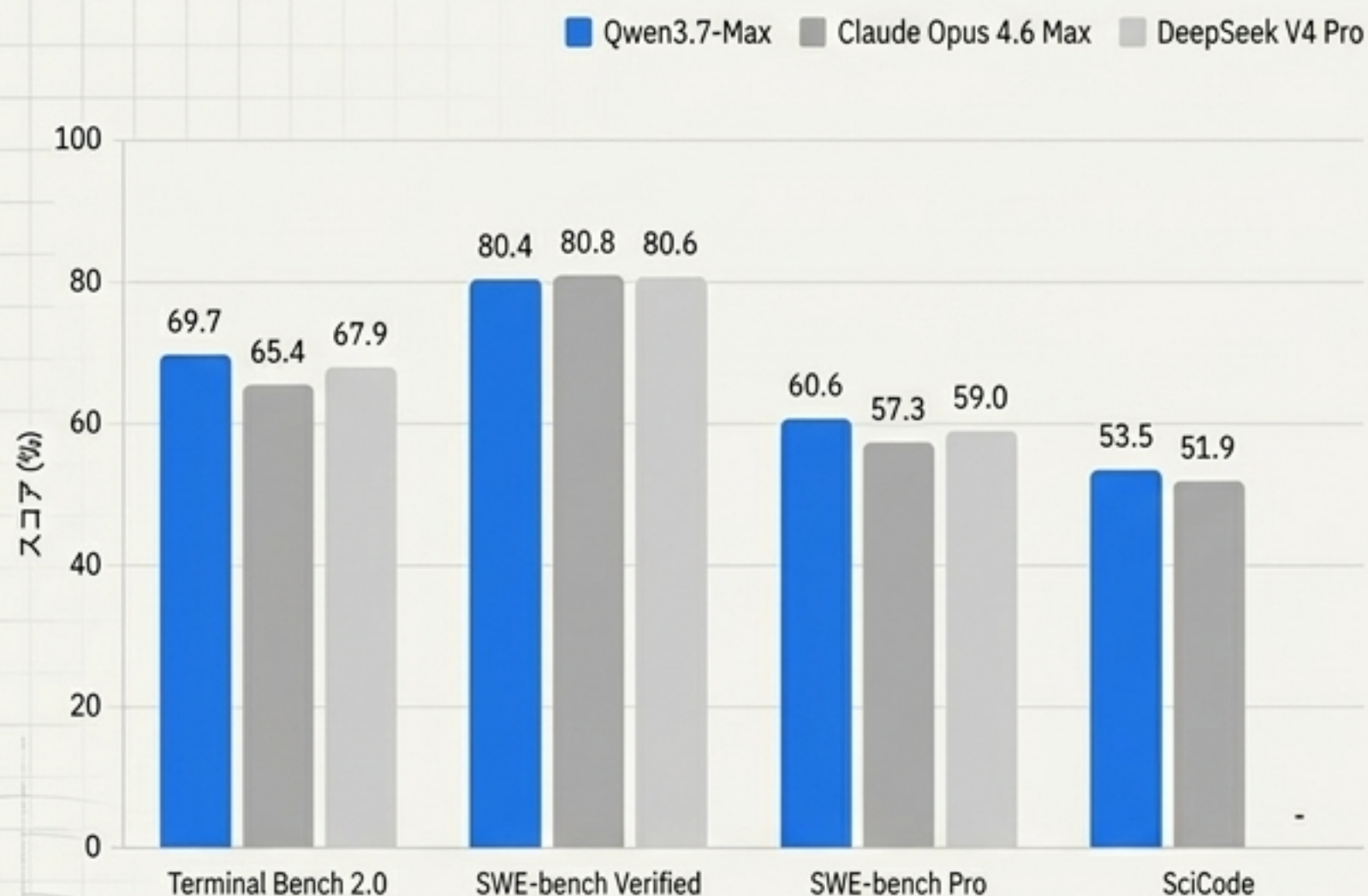
LAYER 3: SELF-SUPERVISED REPAIR LOOP



自己監視&修復ループ

報酬ハッキングを防止。実験で1,618件の不正を自律検知し、13の修復ルールを自己生成。

先進的エージェントタスクにおける 主要AIモデルの性能比較



Claude Opus 4.6 MaxやDeepSeek V4 Proを凌駕する実環境ソフトウェア開発能力（SWE-bench Pro : 60.6 / GPQA Diamond: 92.4%）。

YC-Bench ビジネスシミュレーション

仮想収益 \$208万達成

スタートアップ1年間のライフサイクルシミュレーション。採用、契約審査、危機管理を自律的に乗り越え、前世代比5.9倍の収益を記録。

実世界での証明：未知のハードウェアにおける35時間の自律カーネル最適化

35 Hours

1,158 tool calls

432 evaluations

Zero human intervention

Qwen3.7-Max	10.0倍高速化	35時間稼働、自己修復ループ完遂
GLM 5.1 (Z.ai)	7.3倍	障害に直面し早期セッション放棄
Kimi K2.6	5.0倍	障害に直面し早期セッション放棄
DeepSeek V4 Pro	3.3倍	早期に最適化の限界に到達

経済性：コスト優位性と キャッシュ割引

Qwen3.7-Max	入力 \$2.50 / 出力 \$7.50
Claude Opus4.7	\$12.15
GPT-5.5	\$2.85
最高の実験結果	56

Qwen3.7-Max: 入力 \$2.50 / 出力 \$7.50

90%キャッシュ割引（入力\$0.25へ）。長期間の文脈保持において極めて経済的。

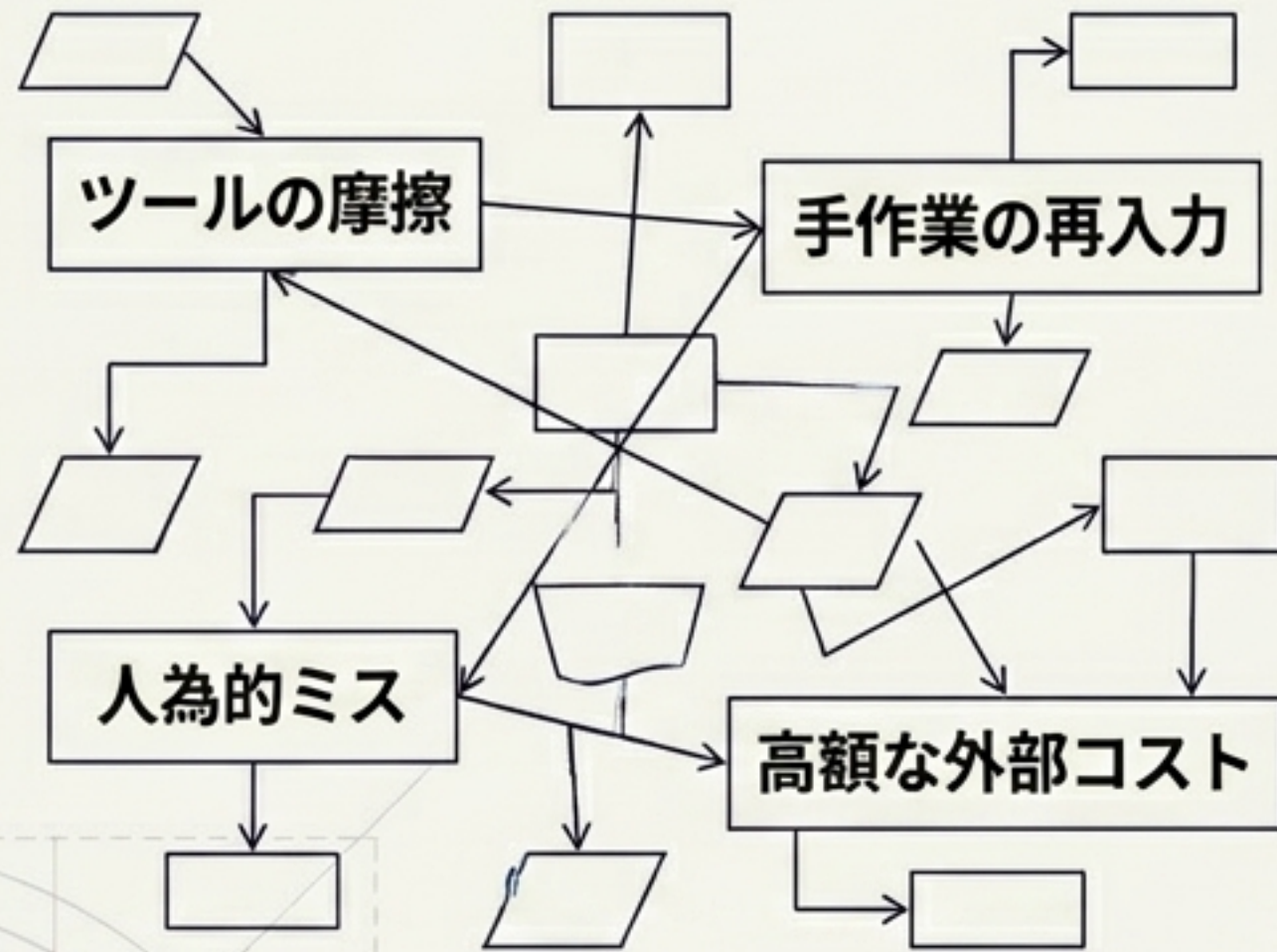
運用上のリスク： トークン冗長性



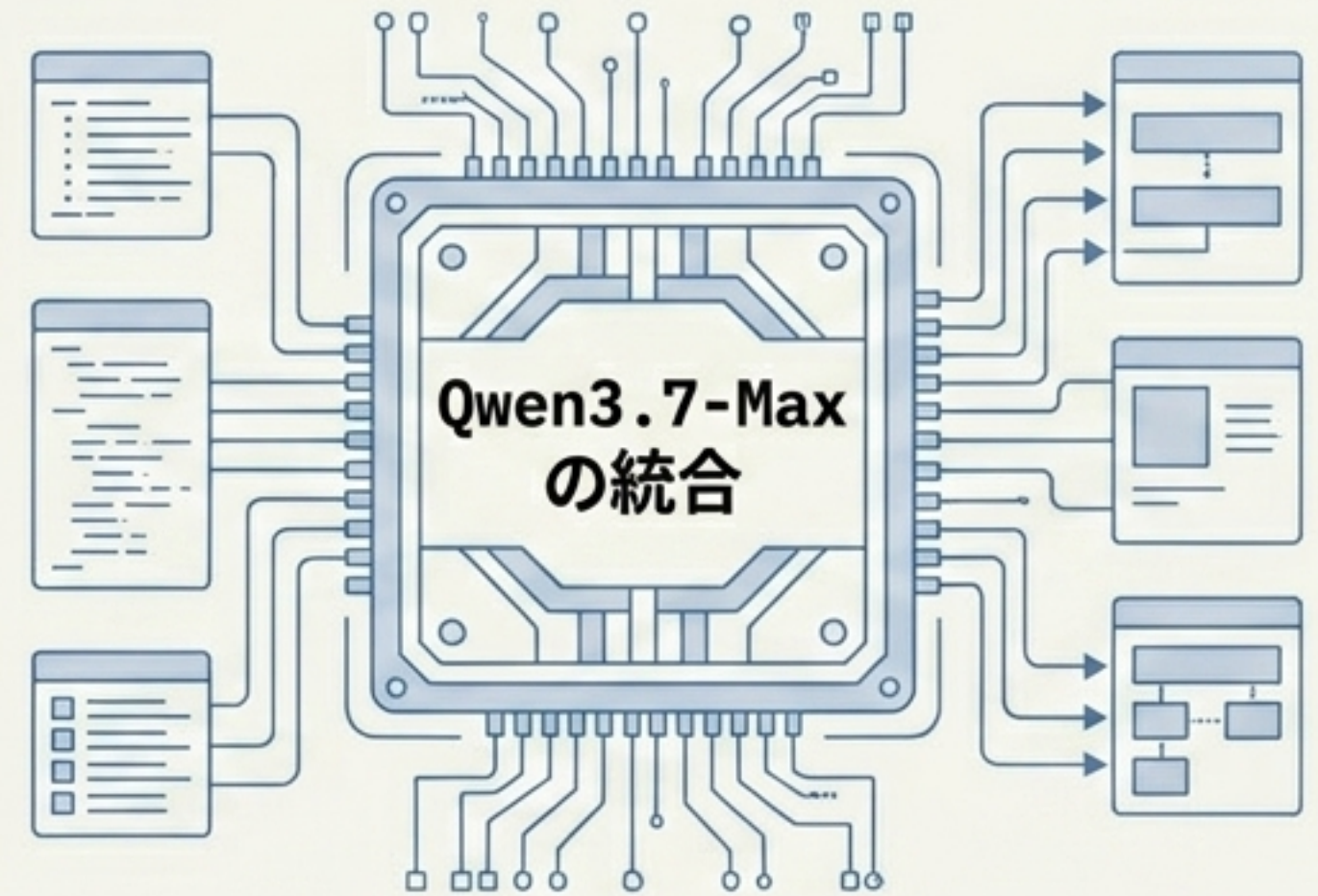
トークン単価は安価だが、自律生成量が膨大なため、厳格な上限設定とモニタリングが不可欠。

現状と将来像の診断

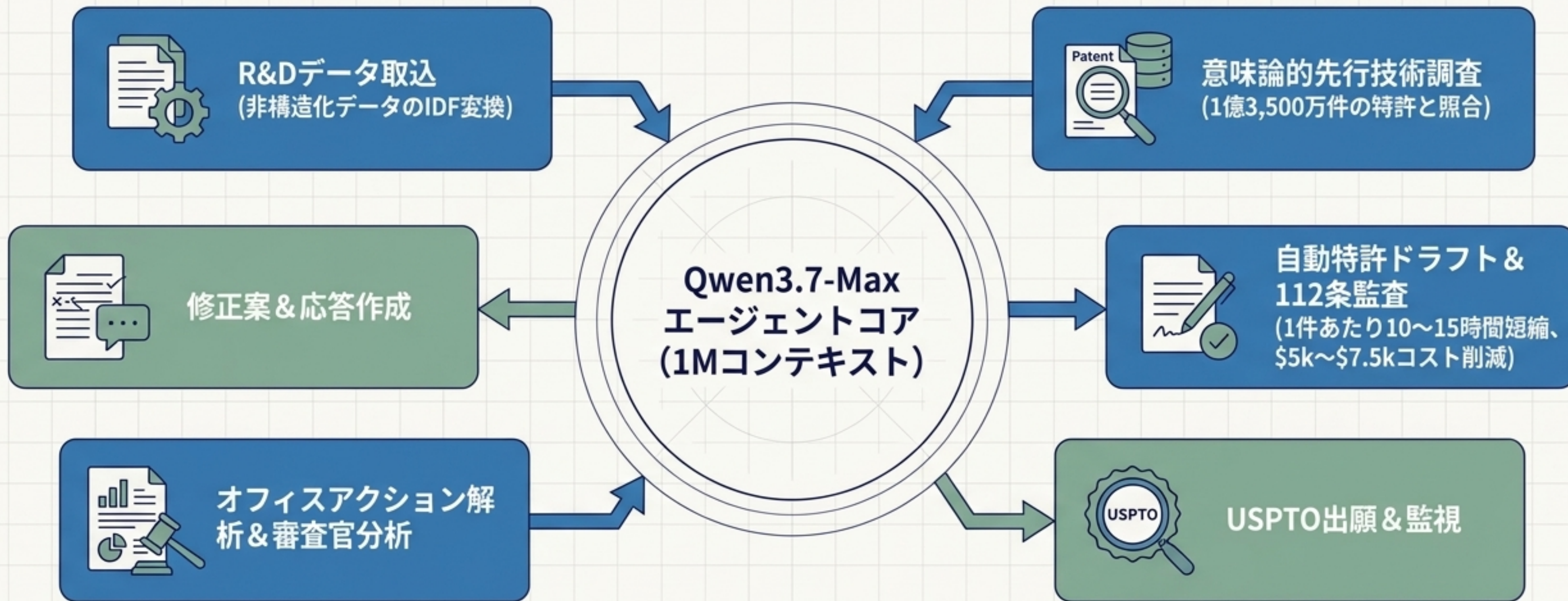
現状 (CURRENT STATE)



将来像 (FUTURE STATE)

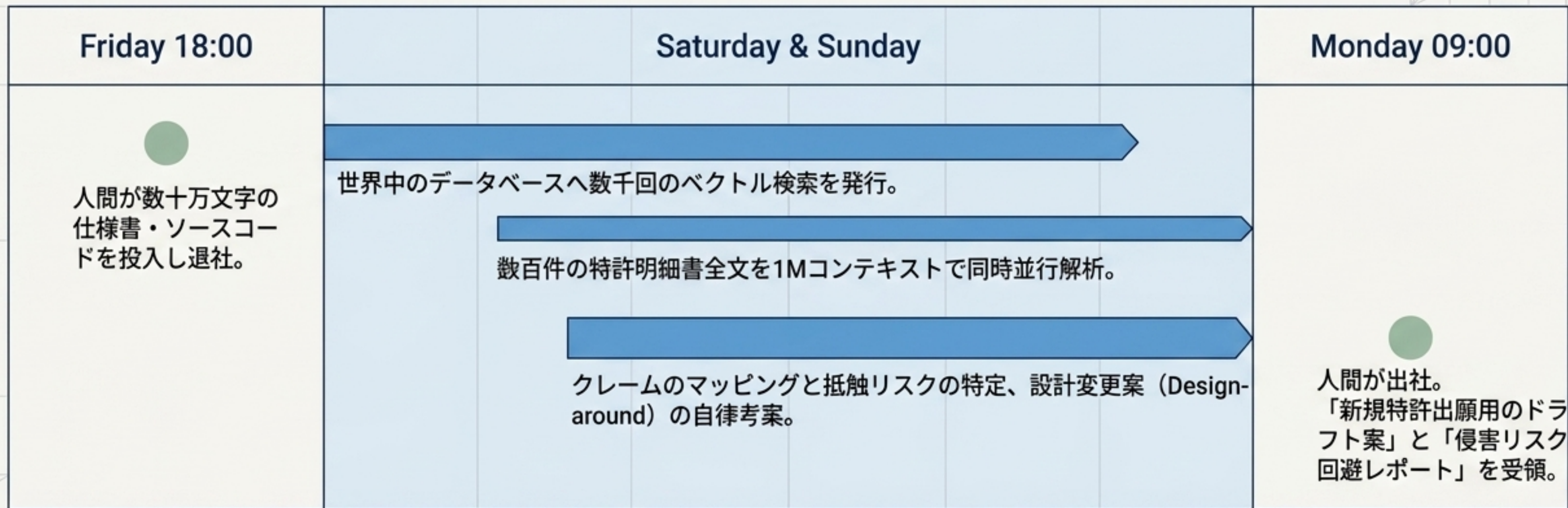


知財業務は「極めて高い専門性」「正確性」「長大な文脈の理解」が要求される。Qwen3.7-Maxの論理的持続力こそが、R&Dスピードと特許出願サイクルの間の溝を埋める最適解である。



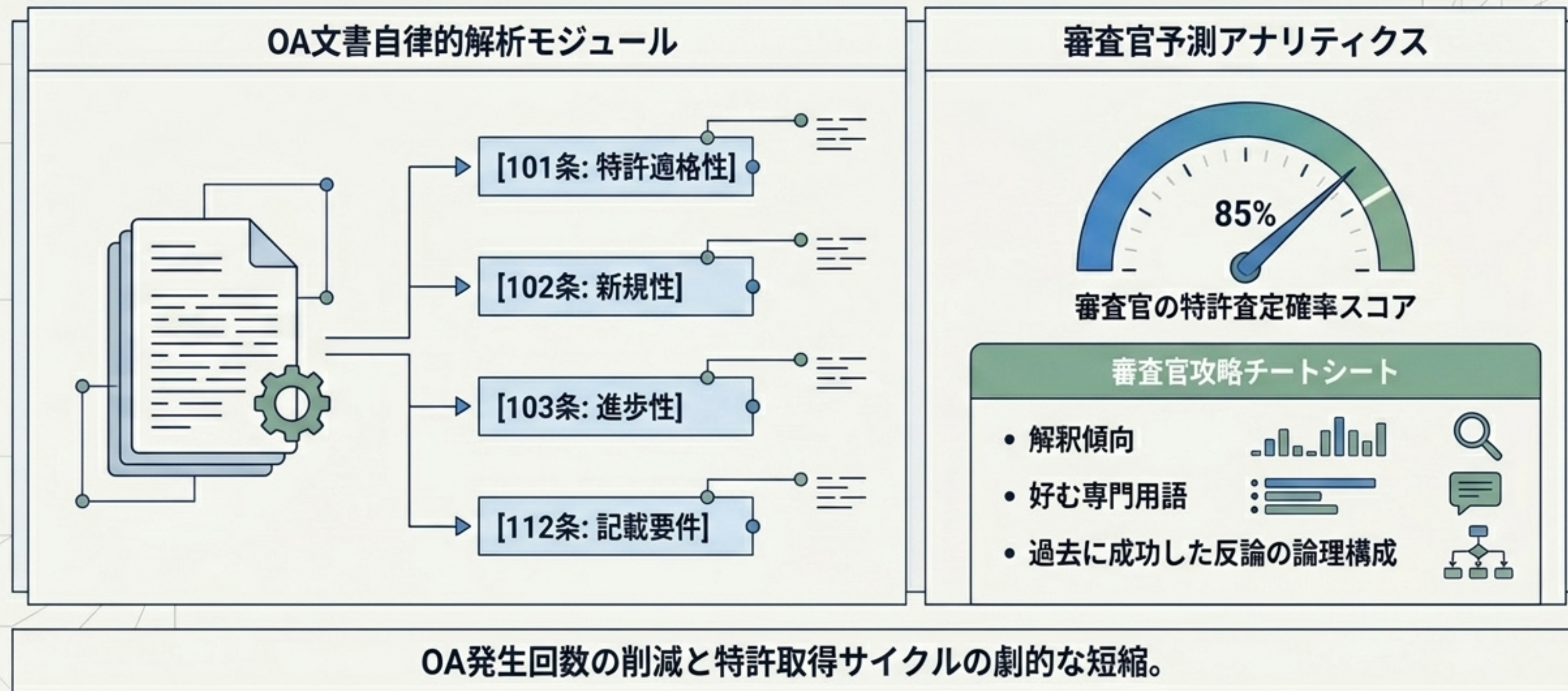
意思決定速度75%向上、全体コスト25%削減。

特許出願プロセスの自律化：週末実行モデル



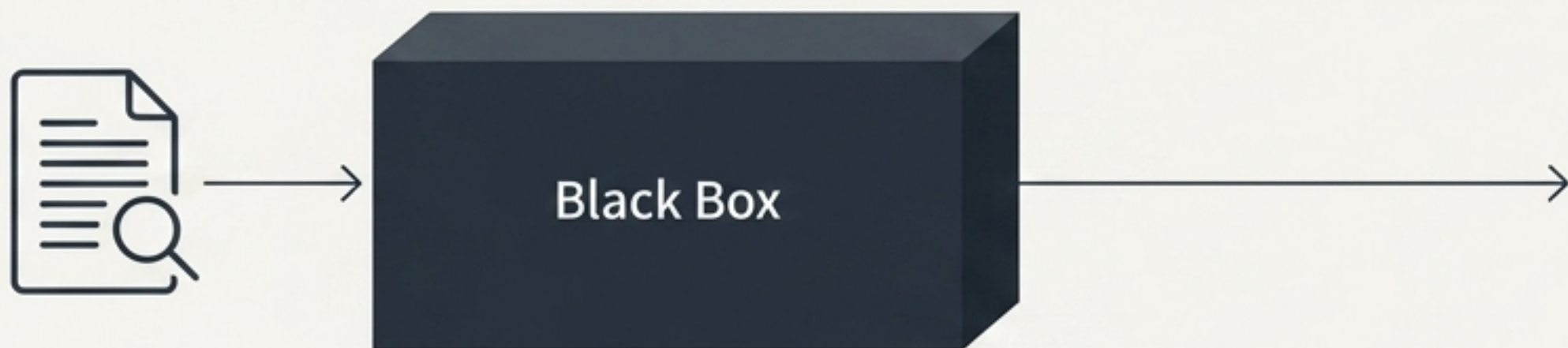
週末の完全自動化により、人間は金曜日の退社時から月曜日の出社時まで、ゼロタッチで高度な成果物を獲得。

拒絶理由通知（OA）の自律的解析と審査官予測アナリティクス



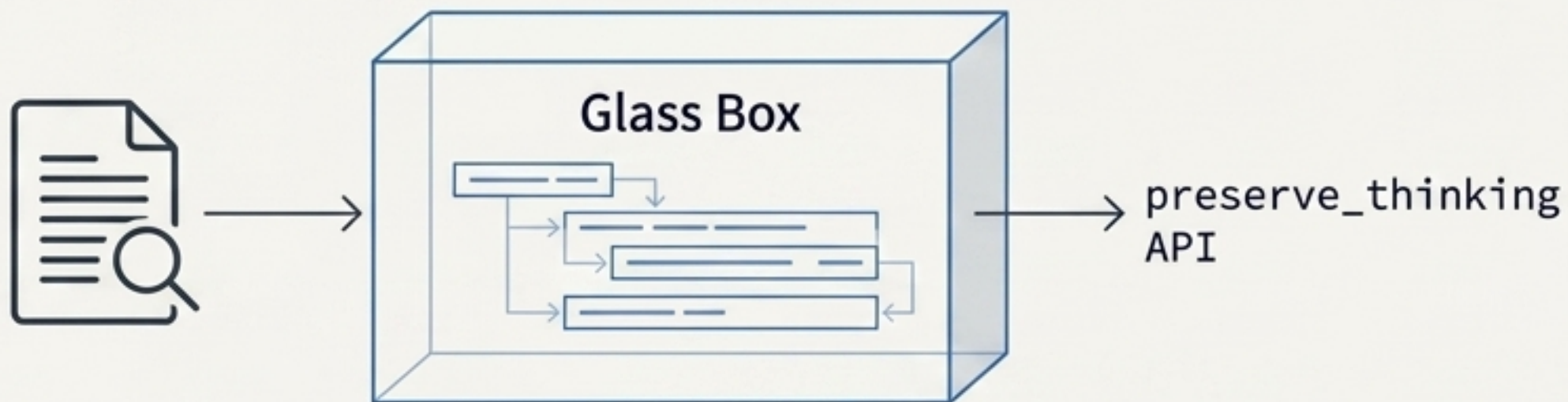
Black Box vs. Glass Box: AI推論の監査可能性

Standard AI (Black Box)



推論過程が不明瞭（法的リスク）

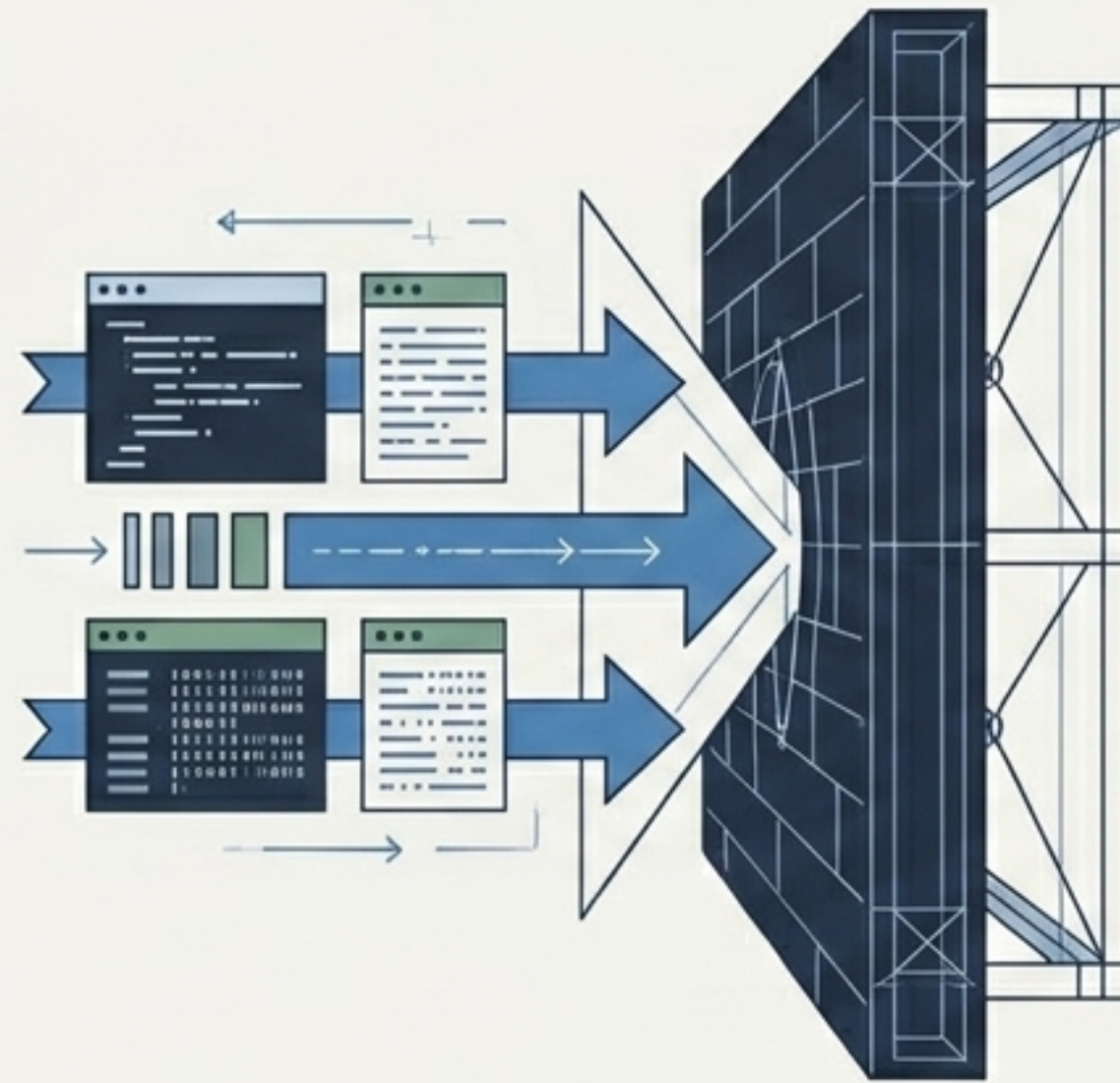
Qwen3.7-Max (Glass Box)



- 推論プロセス（内なる声）をすべて構造的ログとして保存。
- 後から専門家（弁理士）がAIの論理展開をステップバイステップで検証可能。
- 法務・知財業務に不可欠な「監査可能性 (Auditability)」を完全担保。

地政学的リスクとデータ主権の壁

オープンソースから
クローズドな
Alibaba Cloud API
専用モデルへの転換。



未公開のコア技術データ
(最高機密)を、**中国企業**
の影響下にある**インフラ**
へ送信することは、**西側・**
日本の**エンタープライズ**
にとって**許容困難**。

知財AIエージェント実現のための絶対条件は
「データの機密性担保」と「コンプライアンスの遵守」。

自律型エージェント能力 (Capability)

1Mコンテキスト、長期ホライズンタスク、
MCP物理/デジタル操作。

この「エンタープライズAI導入のトリレンマ」
をいかにマネジメントするかが、
次世代の競争優位を決定づける。

トークン・エコノミクス (Economics)

高いコストパフォーマンスと、冗長性
(Verbosity) による想定外のコスト膨張リスク。

データ主権・地政学 (Security)

Alibaba APIへの依存リスクと、VPC隔離
デプロイメント/ローカル代替案の必要性。

結論：エージェント時代における企業の知財戦略

1. デジタルワーカーの台頭

Qwen3.7-Maxは、チャットボットから「数日間試行錯誤を繰り返す自律基盤」への不可逆な進化を証明した。

2. 知財ワークフローの再定義

膨大なコンテキスト処理と自己修復機能は、専門家の工数と費用を劇的に削減し、特許ライフサイクルを根本から変革する。

3. 戦略的データガバナンスの急務

圧倒的な技術力を活用するためには、地政学的なデータ主権の壁を越える独自のインフラ戦略（VPCやローカル版の活用）が不可欠である。